



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

資料 1

IOSCO 世界投資者週間(WIW)への 対応について

2019年9月17日
日本証券業協会



OICU-IOSCO



PROMOTED BY IOSCO

WORLD
INVESTOR
WEEK 2019

1. 世界投資者週間について

証券監督者国際機構（IOSCO）の投資者保護・投資者教育を担当する第8委員会（C8）において、2017年から毎年10月の第一週を「世界投資者週間」（World Investor Week: WIW）と位置づけ、IOSCOメンバー及び協力機関の協力を得て、投資者教育、投資者保護、金融リテラシーに関するKey Messageの周知及びイベント開催等を行うグローバルなキャンペーンを実施している。

開催期間	2019年9月30日（月）から10月6日（日）
主な目的	➤ 投資者教育、投資者保護、金融リテラシーに関する主要メッセージ（Key Messages）※の普及・拡散 ➤ 投資者にとっての学びの機会の促進 ➤ 投資者教育、投資者保護に関するIOSCOメンバー内の連携強化 ※IOSCOでは、投資者の金融リテラシーの向上、無登録業者など詐欺的業者への注意喚起、長期・積立・分散投資、ICO・暗号資産等への投資に対する慎重な判断などを促すメッセージなどを掲げている。 （詳細は参考1参照）

2. 世界投資者週間のキャンペーンについて

キャンペーン実施方針

対象聴衆	WIW自体は、特定のセグメント（年代、性別、収入等）にはフォーカスしないが、各法域の判断で対象セグメントを絞ることも可能。
参加予定当局・機関	C8メンバー当局・自主規制機関を始め、2018年のWIWに参加した法域を中心に、現在87の法域が参加を表明している。 その他、国際機関（投資者教育国際フォーラム（IFIE）など）も参加を表明している。
事後評価計画	各法域の参加当局は、活動結果についてC8に報告を行い、C8は評価レポートを作成する。

国際レベル/ 各法域での活動

国際レベルでの活動

- C8が主体となり、キャンペーン実施計画の策定、WIWグローバルサイトの開設、他のIOSCOメンバー・国際機関への参加呼びかけ等を行う。
- IOSCO事務局においても、プレスリリースの発出、SNSを通じた情報の拡散等を行う。

各法域レベルでの活動

- 各法域での活動については、基本的には各参加当局（日本は金融庁）の裁量に委ねられる。
- 参加当局は、各法域内でWIWの活動の一部を担う主体（自主規制機関、業界団体、市場参加者等）を指定し、ウェブサイトやイベント開催等を通じてWIWのロゴ、主要メッセージの普及・拡散などを行わせることができる。

3. オープニングセレモニーの開催①

キャンペーン初日を世界の主要市場のうち日本が最も早く迎えることから、これまで過去2回に渡り、WIW オープニング・セレモニーを金融庁、日証協、JPXの共催により、東京で開催している。第1回（2017年）はJPX、第2回（2018年）は金融庁で開催し、第3回（2019年）は日証協が主催する。

開催日時	2019年9月30日（月）10時00分～12時00分（開場：9時30分）
会場	太陽生命日本橋ビル26階会議室（東京都中央区日本橋2-11-2）
主催機関	日本証券業協会（共催：金融庁、株式会社日本取引所グループ）
開催目的	IOSCOの公式行事であるWIWにおいて、IOSCOにおける投資者教育の取り組みを国内の関係者等に紹介し日本国内における投資者教育事業の推進の一助にするとともに、本邦での投資者保護・教育に関する取り組みや課題を国外の関係者と共有し、市場参加者の投資者保護・教育の重要性について認識を高めること。
参加者	約120名を予定 主催機関関係者、日証協「自主規制会議」、「自主規制企画分科会」、「金融・証券教育支援委員会、同WG」の委員・メンバー等、協会員、「英語による当面の主要課題」説明会参加者、在京の海外関係先（在京大使館、IBA、国際開発金融機関を含む）、マスコミ等
報告等	✓ IOSCO WEBサイトにおいて開催報告（動画を掲載） ✓ 金融庁、日証協のWIWのWEBサイトにて開催報告（動画及び報告書掲載） ✓ 自主規制会議、金融・証券教育支援委員会にて開催報告

3. オープニングセレモニーの開催②

開催日時

2019年9月30日（月）10時00分～12時00分（開場：9時30分）

会場

太陽生命日本橋ビル26階会議室（東京都中央区日本橋2-11-2）

プログラム（日英同時通訳あり、とうしくん登場予定）



10:00
（英語）

ビデオメッセージ IOSCO C8 議長 **Jose Alexandre Vasco** 氏

挨拶 日本証券業協会 会長 **鈴木茂晴**

スピーチ 金融庁 長官 **遠藤 俊英** 氏

スピーチ 株式会社日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO **清田 瞭** 氏

10:30
（日本語）

パネルディスカッション 1: 「投資者保護から投資者教育への潮流」

モデレーター: 金融庁総合政策局総務課 国際証券規制調整官、企画市場局企業開示課
国際会計調整室長 **園田 周** 氏

パネリスト: シンクタンク・ソフィアバンク 代表、日本証券業協会 金融・証券教育支援委員会 委員長
藤沢 久美 氏

いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役 社長 **Scott Callon** 氏

日本証券業協会 執行役 政策本部共同本部長（調査・国際担当）、IFIE 議長 **石倉 宏一**

11:15
（日本語）

パネルディスカッション 2: 「高齢社会における資産管理と投資者保護への取り組み」

モデレーター: 株式会社野村資本市場研究所 研究部長 **野村 亜紀子** 氏

パネリスト: フィデリティ退職・投資教育研究所 所長 **野尻 哲史** 氏

京都府立医科大学大学院 教授、日本意思決定支援推進機構 理事 **成本 迅** 氏

4. 本協会の取り組み①

日証協ウェブサイトメインビジュアル等に、WIWのロゴマーク等を表示したバナーを掲載するとともに、協会員にも協力を依頼

日証協WEBサイト用



PROMOTED BY IOSCO

WORLD INVESTOR WEEK 2019

日本証券業協会

— 資産形成には長期・積立・分散投資 —

**日本証券業協会はIOSCOの
世界投資者週間(WIW)に
協力しています。**

開催期間：2019年9月30日～10月6日

IOSCO等英語WEBサイト用



PROMOTED BY IOSCO

WORLD INVESTOR WEEK 2019

Japan Securities Dealers Association

World Investor Week (WIW)

**JSDA works
with IOSCO for WIW.**

A smart investor recognizes the benefit of long-term,
regular and diversified investment.

From **30 September** to **6 October 2019**

協会員WEBサイト用



PROMOTED BY IOSCO

WORLD INVESTOR WEEK 2019

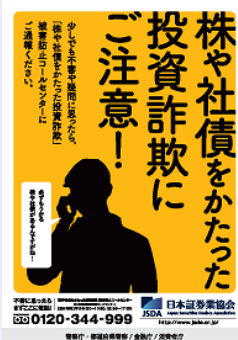
— 資産形成には長期・積立・分散投資 —

**9月30日～10月6日は、
世界投資者週間 (WIW)**

4. 本協会の取り組み②

投資者保護、投資者教育など、WIWの趣旨に沿った事業を展開

○投資詐欺「街頭注意キャンペーン」 (全国47都道府県で開催を予定)



高齢者を中心に深刻な社会問題となっている「株や社債をかたった投資詐欺」被害の防止を図るため、10月を強化月間として、全国47都道府県の主要都市の街頭において、一般消費者・投資者に注意を呼びかける街頭注意キャンペーンを実施する。

○「はじめての資産運用講座」等 (全国75会場135回の開催を予定)



証券投資未経験者・初心者の方へ、金融・証券の基礎知識（金融商品の特性、リターン・リスクの考え方、株式投資・債券投資・投資信託の基礎、資産形成支援制度（NISA・確定拠出年金）の活用等）に関する講座（無料）を全国都道府県で開催する。

○上記のほか、 証券投資の意義に関する記事広告等 協会員主催のセミナー等

○「100年大学 投資のこと学部」



“人生100年時代”を見据えて、これからのお金との向き合い方や証券投資について学び、考えてもらうことを目的として、昨年より展開する「100年大学」の第2期として、2019年8月1日に、「100年大学 投資はじめて学部」を開学。Twitterでの「若者が証券投資をはじめたくなるアイデア」ツイートの募集や証券投資に関するラジオ番組放送のほか、10月4日には、都内で本学部のPRイベント（メディア向け）を開催する。

○ゼロからはじめる証券投資セミナー (全国12会場での開催を予定)

証券投資に興味や関心はあるものの、今一步踏み出せない投資未経験者の方を対象に、全国12会場でセミナー（無料）を開催。
資産運用の基本や税制面で有利なNISAなどの制度についてのお話のほか、これから投資を始める方にも親しみやすい視点のテーマから特別ゲストをお招きし、証券投資の意義や魅力についてお伝えする。



【参考1】World Investor Week 2019 主要メッセージ(Key Messages)

- 各法域でこれらメッセージを周知するか否か、どのメッセージを周知するかは、各法域の当局の判断に任されている。



World Investor Week 2019 Key Messages (主要メッセージ)



- Investing Basics

A smart investor:

- Verifies that an investment professional is licensed
- Conducts research on a product before investing
- Assesses the impact of fees when choosing an investment
- Understands that risk exists in all investments
- Avoids "get rich quick" and "can't lose" schemes
- Recognizes the power of compound interest
- Recognizes the importance of diversification
- Plans for and invests according to his/her future needs and goals
- Recognizes the benefit of long-term, regular and diversified investment

- ICOs, digital assets, and investing online

A smart investor:

- Understands the risks that are associated with initial coin offerings and crypto-assets in general and is careful in deciding whether to invest in these products
- Does not forget about the importance of due diligence when considering investments in online and digital environments
- Recognizes the red flag warning signs of online investment fraud
- Never invests based solely on a celebrity endorsement
- Knows that most legitimate firms do not allow their customers to use credit cards to make investments

【仮訳】

賢い投資者は、

- 投資専門家（業者、外務員等）がライセンスを受けていることを確かめる
- 投資を行う前に商品についてリサーチする
- 投資の選択に際して手数料の影響を検証する
- 全ての投資にはリスクがあることを理解する
- “すぐ儲かる”、“損しない”スキームは避ける
- 複利の効果を認識する
- 分散の重要性を認識する
- 将来の必要性・目標に沿って計画し、投資する
- 長期・積立・分散投資の利点を認識する

賢い投資者は、

- ICOや暗号資産（仮想通貨）全般に関連するリスクを理解し、これらの商品に投資判断を行う際には注意を払う
- オンラインやデジタル環境への投資を検討する際に、デュー・デリジェンスの重要性を忘れない
- オンライン投資詐欺の兆候を警告するレッドフラグを認識する
- 著名人の推薦にのみ基づいて投資しない
- 大部分の合法的な業者は顧客がクレジットカードを使って投資することを許可していないと知っている

【参考2】IOSCO/AMCCの概要

会議名	証券監督者国際機構／自主規制機関諮問委員会 (IOSCO : International Organization of Securities Commissions) (AMCC : Affiliate Members Consultative Committee)
IOSCOの設立目的	1. 投資家を保護し、公正かつ効率的で透明性の高い市場を維持し、システミックリスクに対処することを目的として、国際的に認識され、一貫した規制・監督・執行に関する基準の適切な遵守を確保し促進するために、協力すること 2. 公正行為に対する法執行や、市場・市場仲介者への監督に関する強化された情報交換・協力を通じて、投資家保護を強化し、証券市場の公正性に対する投資家の信頼を高めること 3. 市場の発展への支援、市場インフラストラクチャーの強化、適切な規制の実施のために、国際的に、また地域内で、各々の経験に関する情報を交換すること
IOSCOの設立時期	1974年に設立された米州証券監督者協会を母体とし、1980年代以降に欧州・アジア諸国の機関が加盟。1986年のパリ総会において、現在の証券監督者国際機構という名称に改められた。
IOSCOのメンバー	IOSCOのメンバーには、正会員（Ordinary Member）、準会員（Associate Member）、協力会員（Affiliate Member）の区分がある。我が国からは、金融庁、経済産業省及び農林水産省が正会員として、証券取引等監視委員会が準会員として、日本証券業協会及び日本取引所グループ/日本取引所自主規制法人が協力会員として、それぞれ加盟している。
AMCCの活動	本協会が加入する協力会員諮問委員会（AMCC）は、1989年に事務局長のイニシアティブにより設置された自主規制機関諮問委員会（SROCC）が、協力会員の属性の多様化に伴い、2013年9月に名称変更されたものである。AMCCの機能としては、協力会員相互間の情報交換のほか、協力会員としてIOSCOに参加している自主規制機関（SRO）の知見及び意見をIOSCOの政策委員会の議論に反映させ、グローバルな規制環境の適正な整備に資することが主要なものとなっている。同委員会の会合は通常年2回（IOSCO年次総会時の会合及び中間会合）開催されている。現在同委員会には約60の機関が加入している。 2006～2012年の間、本協会が旧SROCCの議長を務めたが、その後ブラジル金融資本市場協会（ANBIMA）（2012～2018年）を経て、現在は全米先物協会（NFA）が議長となっている。

【参考3】IOSCOの組織

